

2022年11月10日開会 (通算143回)

例会開催日は、木曜日です。

開会点鐘・歌の斉唱

君が代

四つのテスト

会長挨拶



皆様、こんにちは。

日頃ロータリー活動にご協力頂きまして、本当にありがとうございます。

本日の会長挨拶は、百年時代に入ったということをお話したいと思います。11/8に親睦委員会が飯田会員のお店で開催されました。古民家の素敵なお店なので皆さんも機会がありましたら行ってみてください。

その夜は442年ぶりの皆既月食でした。同時に天王星食もみれました。次にこの皆既月食を見ようと思うと332年生きないといけないということで、親睦委員会のメンバーとロマンティックな夜を過ごしました。

昨日、夜に会合があり食事をしておりましたら、隣の席に85歳の人生の先輩が25歳の女性と食事をしていら

っしゃいました。その85歳の方が「90歳でお迎えが来たら、100歳まで待てと追い返せ」と仰られました。どこかで聞いたことがあるなと思っていたのですが、渋沢栄一さんのお言葉に「四十・五十は鼻たれ小僧、六十・七十は働き盛り、九十になって迎えが来たら百まで待てと追い返せ」とあるのを思い出しました。この方は暗に叱咤激励を下さったんだなと思います。

当クラブには鼻たれ小僧と働き盛りしかおりませんので、皆さん、なお一層仕事も遊びも頑張ってくださいと思います。

ありがとうございました。

幹事報告

●11月ロータリーレート 1\$=148円

●今週の土曜と日曜に地区大会が開催されます。皆さんに参加して頂くのは日曜となります。

会場はセントレア空港の近くの愛知県国際展示場です。駅から歩いて10分かからない非常に分かりやすい場所です。

本日参加予定の方には駐車場の案内をお配りしております。お車で行かれる際はご確認をお願い致します。

当日の集合ですが、会議は13:00開始。

11:00に受付開始、11:30～友愛の広場で他のロータリー方と交流をはかりながら飲食ができるようになっております。

こちらは軽食の準備と聞いておりますが、どれくらいの軽食かわかりません。

本日、地区大会の名札をお配りする予定だったのですが、こちらの名札を忘れると会場に入れないので、当日会場にてお配りすることと致します。

私が全員分を持って行きますので、11:30～12:30に友愛の広場へ来て頂いてそこでお渡ししたいと思えます。

もし私が見つからなければ、先日地区大会参加者のグループLINEを作りましたので当日はそちらでご連絡を頂きたいと思えます。

●10/27に地区の職業奉仕委員会があり、地区職業奉仕委員会の安田さんと職業奉仕委員長の山口さんが参加されました。

●先日12/1のクリスマス例会についての出欠フォームを配信致しました。

早めの締切となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

●次回例会が11/17(木)で来週となります。本日の例会後に次回例会の出欠フォームを配信いたしますので、ご回答をお願い致します。

●審議可決事項

①23-24年度地区委員会への出向について

地区職業奉仕委員会 安田 保

地区RYLA委員会 高橋 勝之

危機管理委員会 副委員長 加藤 謙一

学友委員会 加藤 謙一

WFF実行委員会 加藤 謙一

→承認

②新年会(1/5(木)夜間例会)の予算について

→審議可決

③1/12(木)職場見学の日時と場所について

日時:2023年1月12日 11時~12時(10時30分名鉄柏森駅集合)

訪問先:就労支援事業所 えんの里 江南市般若町宮山167 0587-81-8938

→審議可決

- 次回例会は11/17(木)12:10~13:30@若宮の杜迎賓館1階「橘の間」となります。
例会前11:00より第2回クラブアッセンブリー開催されます。
会場などお間違えのないよう、よろしくお願い致します。

委員会報告

【出席委員会】 青木剛基会員より

・出席率(出席免除者2名含む)

(今回)

第143回例会(11/10)

当日出席率:46/64名 71.87%

(前回)

第142回例会(10/20)

当日出席率:36/63名 **100%**

※出席免除者除いて計算

・ニコボックス

名古屋守山RC 遠藤賢彦様より

本日は宜しくお願い致します。

不破直行より

10月23日に長男が19歳になりました。

高木俊郎より

遠藤様、本日は卓話宜しくお願い致します。

井上君、お子様ご出産おめでとうございます。

鈴木拓将より

守山RC遠藤さん、ようこそ宮の杜へ!!

以前、地区の国際奉仕委員会では大変お世話になりました。

今日の卓話楽しみにしております!!

田中吉彦より

社会奉仕委員会の事業を理事会に上程中です。

よりよい事業にするために来月も議案上程頑張ります!!

伊吹洋平より

12/1クリスマス会、宜しくお願い致します。

皆でスマイルたくさん作りましょう!!

渡邊大祐より

佐藤さん、いつもありがとう。

名小路淳より

ワタナベさん

すみません、やらかしました!!

浅野慎之、大野将義、加藤謙一、佐野洋一郎、出口茂、野々垣雄介、不破直行、堀場和孝より
第143回例会を祝して

★青少年奉仕委員会 不破直行委員長より

かのんさんは健康状態はとくに問題はなく、レストランにてアメリカンサイズの食事でも完食できるようになった。

学校の授業もしっかりついていけており、今はダンスチームの仲間ともっと仲良くなることが目標。瞬時に英語を話すことに慣れていないので頑張りたい。

ホストファミリーとは皆仲良く、新しい経験を沢山させてもらって楽しい。森の中を大きな車ですごいスピードで走ったり、ハロウィンも体験した。

カウンセラーと2時間歩きまわって箱いっぱいにお菓子をもらい、仮装はホットドッグになった。

ホストロータリーの例会にも参加して、ポールセレモニーでは地球に平和が訪れますようにと一人一人様々な言語で言った。

ディナーでは自分のアメリカでの様々な経験をシェアしてコミュニティが広がった。

10月レポート

★RYLA委員会 高橋勝之SAAより

地区RYLA委員会からご案内です。

前々回の例会でもご案内させて頂きましたが、募集要項及び募集の案内が届きましたので、ご子息やご友人で高校生から30歳まででどなたかいらっしゃいましたら、よろしくお願い致します。

また、メールとLINEにてご連絡させて頂きます。

ものすごく楽しい、勉強になるセミナーとなっておりますのでぜひとも参加して頂きたいと思います。

第31回RYLAセミナー

★親睦委員会 伊吹洋平委員長より

皆様こんにちは。すでにクリスマス例会の出欠の案内を送っております。どしどしと返答を頂いております。

通常は迎賓館で開催しておりましたが、ご家族がいらっしゃるというわけで入れないので今回はマリオットで開催致します。

堀川沿いのマリオットです。会場と致しましても大変立派で皆様に満足して頂けると思います。

今年初めてのクリスマス会として一緒に楽しみましょう!!

コートヤード・バイ・マリオット

★ゴルフ同好会 名宮会 真城建治会長より

去る10月28日 第21回名宮会を多度カントリークラブで開催いたしました。

豊田三好ロータリークラブとの共同開催にて、当クラブからも13名の出席を頂きました。

21回の取切戦 代表選手は高橋勝之さんとなりました。

今年度の代表選手は
第19回 真城建治さん
第20回 山口泰弘さん
第21回 高橋勝之さん
となりました。

次回 第22回 名宮会2022-23年度会長会を12月12日 グレイスヒルズ カントリー倶楽部で開催いたしますのでご参加のほど、宜しくお願い致します。

★フィッシングクラブ 三輪貴之会員より

活動報告をさせていただきます。

大野部長、弟子頭は高橋さんです。

総勢15名で活動しております。

日本の南北の海、それぞれで美味しいものを釣りに行っております。四季折々の魚を求めて日々活動しております。

今回のスポット参戦は金子会員です。

新入部員を募集しております。船釣りの道具がないという方も大丈夫です。大野部長が何人分でもお持ちです。レンタル無料です。

活動報告



その他

～卓話～

地区補助金委員 遠藤 賢彦 様(名古屋守山RC)

「ロータリー財団を活用しよう!」



2760地区ロータリー財団 補助金委員会の遠藤賢彦(エンドウ ケンゲン)です。

名古屋守山ロータリークラブに所属しております。

本日は、ロータリー財団月間にあたり、ロータリー財団へのご理解を深めていただけるよう卓話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

皆さまからの大切なご寄付がどのように使用されているかをご説明いたします。

まず、ロータリー財団とは1917年6月18日、ヨーロッパで戦火が荒れ狂うころ、米国ジョージア州アトランタで開かれた第8回ロータリー年次大会で、当時の会長アーチ・クランプは「世界で良いことをするための基金を作るのが、極めて適切であると思われる」と自身の構想を発表しました。その1ヶ月後に寄せられた、26ドル50セントの寄付で始まった基金は、1928年「ロータリー財団」と改称され、今日に続いています。ロータリー財団のその使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することであり、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることにあります。

ロータリークラブ及び地区を通じて実施される、承認された人道的及び教育的活動支援のための寄付を受け付け、資金を分配するのがロータリー財団の役割です。

国際ロータリーが人間の「カラダ」としたら、ロータリー財団は「血液」です。「血液」が無ければ、「カラダ」は動きません。国際ロータリーは皆さまの会費で運営をしていますが、ロータリー財団はロータリアン皆さまからの寄付で運営・活動をしています。

昨年度2021-22年度貴クラブより多大なるご寄付ありがとうございました。

本年度2022-23年度2760地区のロータリー財団寄付の目標は、年次基金おひとり150\$以上、ポリオプラスおひとり30\$以上です。恒久基金、クラブでベネファクター1名または、1000\$以上です。

2021-22年度は、恒久基金に寄付されたクラブは42クラブありました。

大口寄付者は9名、ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)は、現在22名のメンバーがいらっしゃいます。このような実績から、昨年度は地区目標額を上回りました。

「大口寄付」とは、一括10,000ドル以上を寄付される方です。寄付分類は問いません。

「ポール・ハリス・ソサエティ」とは、毎年1,000ドル以上を、年次基金またはポリオプラス基金に寄付することを約束された方を認証するためのプログラムです。

ロータリー日本財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。法人からの寄付も同様です。個人向けの領収書は半年ごとにクラブへ発送されていますので、受け取られましたらしっかり保管してください。詳しくは、「寄付・認証の手引き 2022-23年度版」をご覧ください。財団室NEWS8月号に、ダウンロード用URLが掲載されています。

皆さんから集めた寄付が、どのように使われているのか。

グローバル補助金事業は、年々実施件数が増えており、2020-21年度は2,066件が承認されました。

チャリティーナビゲーターは世界の奉仕団体を調査している組織です。ロータリー財団は、14年以上最高位の4つ星を獲得しています。このように第三者機関にも認められています。ロータリー財団の情報は、財団室NEWSを是非お読み下さい。毎月DCSでクラブにお届けしていますので、事務局員さんから皆さまに転送されていることと思います。また、地区のホームページからもダウンロードできます。いろいろな情報が掲載されています。特に、ポリオの発症数については毎月掲載されていますので、会長挨拶の時などにお話しいただければ幸いです。

地区の財団委員会のプログラムを順に説明致します。

まずはポリオプラスです。

ポリオ根絶は、ロータリーの最優先項目で、世界の子どもたちへのロータリーの約束です。

特に感染しやすいのは5歳未満の子どもで、治療法はないですが、ワクチンで予防が可能です。6月にロンドンの下水からポリオウイルスが検出され、ロンドンに居住する1歳から9歳までのすべての小児を対象に、ポリオオワクチンの緊急追加接種を実施することが発表されました。また、ニューヨークでも下水からポリオウイルスが検出され、7月にはアメリカでは約10年ぶりにポリオの感染者1名が確認されました。とにかく世界にひとりでも発症者がいたら、毎年4億人の新生児にワクチンを打ち続けなければなりません。

パキスタンで感染者が増えている理由ですが、不十分なインフラと文化的障壁、辺縁の地域までなかなかワクチンが届いていない、パキスタンのタリバンがワクチンを推奨していない、個別訪問するポリオ接種チームが政府のスパイと思われる。そのため、医療従事者の身にも危険が及ぶ可能性があり、WHOは医療従事者の身の安全を最重要としているので、ワクチン接種がうまく進んでいないようです。

皆様お住まいの町の新生児数は何人いらっしゃいますか?ポリオが根絶されれば、ポリオワクチンをそもそも打たなくてよくなれば、その町の財政負担にの軽減にもつながると思います。

10月24日に世界ポリオデーとして、全世界でポリオ撲滅のイベントを行いました。2760地区では10月25日に南山カントリークラブにて、チャリティーゴルフコンペを行いました。また、2023年4月15日(土)、16日(日)にはワールドフードふれ愛フェスタ(WFF)が行われます。ここで集めたお金で、移動図書館をパキスタンに寄付をしています。

教育への支援という事で、平和フェローシップとグローバル補助金奨学生のご説明です。

まず平和フェローですが、世界8つの大学と提携している「ロータリー平和センター」では、世界平和と紛争予防の担い手を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。世界中の多くの応募者の中から、毎年最高130名が平和構築のために勉強しています。修士号取得プログラムでは3年以上、専門能力開発修了証プログラムでは5年以上の実務経験が必要です。当地区からはしばらく奨学生を送り出していないので、候補者がいましたら推薦をお願いします。

地区補助金の活用をお願いします。地区補助金には、地区補助金とグローバル補助金の2種類がございます。今年度地区補助金は84クラブ中56クラブからご申請をいただきました。申請時に「地区とクラブの覚書」(MOU)を会長と会長エレクトが署名をした書類を提出していただきます。授与と受諾の条件には、事業に際して「やってはいけないこと」注意書きが記載されています。どちらも、しっかりと読みいただき、遵守していただかなければなりません。

シェアシステムの説明です。財団では、3年の資金サイクルを採択しております。年次基金を3年間資金として運用し、その運用益は財団の運営費に使われます。3年後、その元金の半額が地区財団活動資金(DDF)と言われるものです。そしてその半分が国際財団活動資金(WF)です。そしてさらにこの地区財団資金の半分が地区補助金として使う権利があるという事です。また、この半分がグローバル補助金として使われます。2つの補助金について具体的にご説明致します。地区補助金は、比較的小規模で短期間のプロジェクトを支援致します。地元や海外で今すぐ必要とされる支援に取り組む事が必要です。今年度から各クラブの申請可能額を設定させて頂きました。クラブの3年前の拠出頂きました年次基金寄付の総額25%を今年度使っていただけるように設定させて頂きました。2023-24年度の貴クラブの地区補助金申請可能額は770\$です。お早目に2023-24年度の事業立案に取りかかって頂きます様、宜しくお願い致します。

これまでのルールと大きく変わり明確になりました。25%はそれぞれのクラブが納めた年次基金寄付ですから、まずは、その補助金を活用して事業を構築してください。これまでとルールを変更し、クラブの拠出金はマストではなくなります。申請可能額のみでの事業が可能です。クラブ拠出金を上乗せすれば、さらにもっと大きな事業が可能です。地区補助金を積極的に申請して奉仕事業を行って下さい。

毎年補助金委員会で頭を悩ますテーマが継続事業と寄贈事業です。

継続事業についてですが、先程申し上げました授与と受託の条件の制約事項に、特定の受益者に過度の支援をしてはいけないと書いてあります。今年度は委員会で議論を重ねた結果、内容が昨年と同じだけれども、受益者が違えばOK。また、受益者が同じでも内容が違えばOKとしております。申請可能額を設けさせて頂いた事で限られた条件の中、よりインパクトのある奉仕事業を構築して頂きたいという想いから、ルール改正させて頂きました。

続いて、寄贈事業です。地区補助金というのは、ロータリアンが汗を流して地域に貢献するという事を大きな目的として作られたシステムですので、ただ物を差し上げるだけでは地区補助金として認められないと

いう風に考えています。ロータリーが積極的に参加する事が求められていますので、事業目的達成のために必要な資材・機材の整備が伴う事業はOKです。実際にリアルに何か物を運んだり、工を手伝うことはもちろんですが、地域のニーズを調査したり、準備をするプロセスも含めています。

今年度の地区補助金事業を、コロナに負けずに実行してください。規模の縮小など、変更点がある場合はご相談ください。また、今年度の地区補助金事業を地区公共イメージ向上委員会に伝えるとともに、HPやSNSで広報してください。

グローバル補助金事業です。グローバル補助金事業は、長期的で持続可能な影響をもたらす事業、予算30,000\$以上、海外のクラブと協力、地元地域の人々が特定した重要なニーズに取り組む事です。この「持続性をいかに担保するか」ということが重要なポイントです。加えて、「ロータリー重点分野の少なくとも一つに一致する活動を含む」プロジェクトでなければなりません。皆様すでにご存知かと思いますが、2021年7月より重点分野に『環境』が加わり”7分野”となりました。これまで日本は主に「援助国」側でしたが、『環境』については、日本も「実施国」となり得る分野だと思えます。今年度から、当地区のDDF配分ルールが変わりました。変更前はクラブは1円も出さずに申請することができましたが、今年度からはクラブ拠出金が必要です。そのため理事会に諮る必要が出てきます。地区補助金の申請には期限がありますが、グローバル補助金はいつでも申請ができます。ただし、必ず事前に「RID2760 地区財団活動資金申請書」を提出してください。書式は地区補助金の申請書と同様に、地区のホームページよりダウンロードできます。

職業研修チームです。Vocational Training Team の略でVTTと呼ばれます。専門家チームを海外に派遣して研修を行う。または専門家チームを国内に招聘して研修を行うプログラムです。

グローバル補助金奨学生です。以前はどのような分野でも奨学金を申請することができましたが、未来の夢計画導入によってロータリーの重点分野に限定されました。グローバル補助金奨学金の申請には、実務経験は不要です。こちらも候補者がいましたら推薦をお願いします。奨学金の申請については締め切りがあります。今年度の募集は締め切りしました。次の応募期間は2023年7月1日から10月31日で、2024年秋入学以降の方が対象となります。

最後に財団の資金の説明です。財団は皆様のご寄付で成り立っていると申し上げましたが、寄付の分類には年次基金、ロータリー災害救援基金、ポリオプラス、恒久基金、その他基金があります。詳しくは「寄付・認証の手引き 2022-23年度版」をご覧ください。

ロータリーカードの紹介をさせていただきます。カードの種類に応じて利用額の0.3%または0.5%等が自動的にポリオ根絶の支援金となります。

今日はダイナースクラブのクラブカードにご案内させていただきます。今年度はクラブカードの他に、地区補助金事業用としてネット等での支払いに利用できる「地区補助金専用口座に紐づけしたカードを作成してください」とお願いしています。とくに使用されているのが「例会費」、「人頭分担金」、「財団寄付」の支払いです。これだけでも結構な金額になると思います。

最後にロータリー財団を是非ご活用ください。そして財団に寄付したものがどのように使われているかご理解頂き、おひとり150\$ポリオプラス30\$にご寄付頂きます様、何卒宜しくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。